

令和7年  
2025年

3月4日  
火曜日

第11663号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料(前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6か月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



横浜市場が「関東東海フェア」開催……P4

- ▶ 畜産業界向けウェビナー実施、飼料流通に関して2024年問題を振り返る……………P2
- ▶ 消費者動向調査、「経済性」「簡便化」が調査開始以来最高値-日本公庫……………P2~3
- ▶ [加工品仕向肉量・1月]国産、輸入の合計数量は3万1306tで5.5%増……………P3
- ▶ 京都府養豚協議会が第21回豚肉品質向上研究会を開催……………P4
- ▶ 横浜市場が「関東東海フェア」、最優秀賞交雑種は中村畜産、和牛はマルトミが購買……………P4
- ▶ [ソーセージ輸入1月]計1990tで28.3%増……P5
- ▶ [鶏肉調製品輸入1月]計3万8628tで8.2%増……………P5
- ▶ 農林水産物および輸出の促進に関する法律に基づく実行計画変更、ウクライナ向けの牛肉輸出解禁に向け、協議進める……………P6
- ▶ バーガーキング、お得なクーポン進呈「バーガーキング潜入大作戦」開始……………P6
- ▶ オリジン、期間限定「牛ハラミ焼肉弁当」登場…P6
- ▶ ドイツでの口蹄疫発生から1カ月が経過、豚肉価格が軟化……………P7
- ▶ [資料]2025年食肉産業展セミナー案内…P8
- ▶ [資料]2025年1月分の食肉輸入通関実績⑨…P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]3日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]3日…P11

## 注目のヘッドライン

### 畜産業界向けウェビナー実施、飼料流通 に関して2024年問題を振り返る

(株)YE DIGITALはこのほど、飼料メーカー、飼料配送業者、畜産農家らを対象にウェビナーを開催した。

…詳細はP2

### 食肉産業展が3月11日開幕、来場受付中

第49回食肉産業展2025が3月11日から14日までの4日間にわたって、東京ビッグサイト(東7ホール)にて開催されます。来場には事前登録が必要です。QRコードから来場受付フォームに入力をお願いいたします。皆様のご来場をお待ちしております。



**Nipponham Group**  
たんぱく質を、もっと自由に。

### 食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5  
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

## 畜産業界向けウェビナー実施、飼料流通に関して2024年問題を振り返る

IoTソリューション事業として物流DX、畜産DXによる諸問題解決に取り組む(株)YE DIGITAL(玉井裕治社長)はこのほど、飼料メーカー、飼料配送業者、畜産農家らを対象に、「畜産業界における2024年問題の振り返り～飼料流通の取り組み～」と題したウェビナーを開催した。

初めに、宮崎県農政水産部畜産局畜産振興課畜産経営支援担当の新原文人主幹が「宮崎県における配合飼料の輸送に関わる取り組みについて」をテーマに講演。宮崎県は口蹄疫が発生した2010年以降、家畜防疫を畜産経営の土台と位置付けており、令和5年度の農業産出額は全国6位の3720億円、そのうち畜産が約67%を占め、そのため配合飼料の取扱量も多い県だ。

同県は、21年から関係団体との意見交換やアンケート調査を実施しており、社員定着率の上昇による人員不足解消に向け、配送ドライバーの付帯作業の緩和が論点となった。高所での飼料タンクへの飼料添加物投入など、運搬者が付帯作業として行う労働が多く、負担軽減、拘束時間の短縮、安全確保が必

要とされている中、その解決策として、飼料添加物を自動で混ぜるブレンダー、飼料残量測定装置の設置が求められている。24年には畜産飼料流通効率化緊急支援事業により、装置導入経費の半額を県が補助するという支援策も施された。

続いて、宮崎県経済農業協同組合連合会酪農飼料部飼料養鶏課の日高大輔課長が「協同の力で取り組む飼料流通の課題とJA宮崎経済連の実践事例」と題して講演した。飼料流通においては、配送業界全体の課題のほか、特殊車両(バルク車)の使用、付帯作業の対応などが飼料配送特有の懸念材料となっており、配送が困難になることが不安視されている。

そのため、輸送の効率化・標準化により、畜産生産者への安定供給に向けて取り組みを進める必要がある。具体的には、手動開閉装置や昇降機の導入などによる高所作業の安全性向上、配送エリアの再編成や飼料残量センサーの導入による配送効率化、定期的な会議やマニュアルの共有による関係者同士の連携強化—などに取り組んでいる。

## 消費者動向調査、「経済性」「簡便化」が調査開始以来最高値 —日本公庫

日本政策金融公庫はこのほど、「消費者動向調査(令和7年1月調査)」を実施し、食に関する志向のほか、日本の将来の食料輸入についての考え、環境に配慮した農産物・加工食品の購入について調査した。

食に関する志向は、令和6年7月調査に引き続き「経済性志向」「健康志向」「簡便化志向」が3大志向となった。「経済性志向」(45・6%、前回比1・4ポイント増)は平成20年の調査以来最高を更新した。令和5年7月調査以来40%超えが続いており、高い水準を維持している。「経済性志向」を選んだ理由は「物価が上昇しているから」(54・2%)が最も高かった。また、「健康志向」(44・0%、0・8ポイント増)も上昇した。

「簡便化志向」(40・3%、4・8ポイント増)は、調

査開始以来初めて40%超えとなり、年代別では70代が大きく上昇。「簡便化志向」の行動は「冷凍食品を活用」(44・3%)が最も高かった。

国産食品に対するイメージは、価格面が「高い」(61・1%、3・3ポイント増)の割合が上昇。輸入食品に対するイメージは、価格面は「安い」(45・3%、2・5ポイント増)の割合が上昇した。国産品と輸入品の価格に対するイメージを品目別に尋ねたところ、国産品が「高いと感じる」と回答した割合が最も高かった品目は「牛肉」(73・1%)となった。輸入品が「安いと感じる」と回答した割合が最も高かった品目は「鶏肉」(43・8%)、次いで「豚肉」(37・6%)、「牛肉」(35・6%)と畜産品が上位を占めた。

日本の将来の食料輸入について、「不安がある」とする割合は81・2%となった。その理由として、「気候

変動や自然災害が輸出国における食料生産に影響を与え、必要な輸入量を確保できなくなる懸念があるから」(32・7%)が最も高かった。

農産物購入時、環境に配慮した農産物かどうかを“気にかけている”とする割合は42・1%で、環境に配慮した方法で生産された農産物としてよく購入するのは「地産地消の農産物」(51・0%)が最も高かった。

た。さらに、環境に配慮した方法で生産された農産物を選ぶ理由は「食べる人の健康に配慮しているから」(64・3%)が最も高かった。

一方で“全く気にかけない”と回答した人に、環境に配慮した方法で栽培された農産物を購入するために求める条件を尋ねたところ、「価格が今より安価である」(58・3%)が最も高くなった。

**【加工品仕向肉量・1月】 国産、輸入の合計数量は3万1306 tで5・5%増**

日本ハム・ソーセージ工業協同組合がまとめた1月の加工品仕向肉量によると、国産と輸入を合わせた合計数量は3万1306t(前年同月比5・5%増)と前年同月を上回った。このうち国内物が8701t(8・6%増)と増加し、輸入物も2万2605t(4・3%増)と増加している。

畜種別にみると、豚肉は国内物が5220t(11・7%増)、輸入物が2万880t(5・3%増)、合計2万6100t(6・5%増)で前年を上回った。また、鶏肉は国内物が3356t(3・1%増)と増加し、輸入物は755t(10・9%減)となり、合計では4111t(0・2%増)と前年を上回った。成牛肉は1065t(1・8%増)で、国内物が122t(57・2%増)、輸入物が943t(2・6%減)となった。

シーズンドポークなどを含む豚肉調製品は8908t(0・5%減)となっている。

2025年1月分の食肉加工品仕向肉量

(単位：トン、%)

区分	仕向肉量	対前年同月比	2025年累計	対前年同期比	
豚肉	国内物	5,220.2	111.7	5,220.2	111.7
	輸入物	20,879.7	105.3	20,879.7	105.3
	合計	26,099.9	106.5	26,099.9	106.5
成牛肉	国内物	121.7	157.2	121.7	157.2
	輸入物	943.2	97.4	943.2	97.4
	合計	1,064.9	101.8	1,064.9	101.8
子牛肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.5	83.3	0.5	83.3
	合計	0.5	83.3	0.5	83.3
馬肉	国内物	3.4	161.9	3.4	161.9
	輸入物	5.8	120.8	5.8	120.8
	合計	9.2	133.3	9.2	133.3
綿羊肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	20.7	109.5	20.7	109.5
	合計	20.7	109.5	20.7	109.5
山羊肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0
鶏肉	国内物	3,355.8	103.1	3,355.8	103.1
	輸入物	755.1	89.1	755.1	89.1
	合計	4,110.9	100.2	4,110.9	100.2
合計	国内物	8,701.1	108.6	8,701.1	108.6
	輸入物	22,605.0	104.3	22,605.0	104.3
	合計	31,306.1	105.5	31,306.1	105.5
うさぎ肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0
魚肉	国内物	1.3	108.3	1.3	108.3
	輸入物	10.6	102.9	10.6	102.9
	合計	11.9	103.5	11.9	103.5
【参考】					
豚肉調製品	8,908.1	99.5	8,908.1	99.5	
うちシーズンドポーク	8,902.1	99.5	8,902.1	99.5	

注) 1. 仕向肉量は食肉加工工場より報告された数量である。

資料：日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」

(公益社団法人日本食肉協議会委託事業)

## 京都府養豚協議会が第21回豚肉品質向上研究会を開催

京都府養豚協議会(岸本大地会長)は2月28日、京都市中央卸売市場第二市場内セミナールームで第21回京都府豚肉品質向上研究会を開催した。同会は京都府内の肉豚生産者がそれぞれ肥育した豚を市場に持ち寄り、肉質や脂質を比較検討し、飼養管理などの情報交換も併せて、今後の生産に生かしていこうというもの。枝肉、ロース芯を見学した後、専門家を招き最新の養豚事情についての講義を聴講するなど、生産者の技術研さんの場として年1回実施している。

当日は関係者約50人が、出品された生産者の豚枝肉の状態や枝肉競りを見学、出品豚のカタロースを試食したほか、公益(株)日本食肉格付協会京都事業所の南方諒所長が、研究会出品豚の格付評価と肉質評価についての講評を行った。その後、講師として一般(株)日本養豚協会の小磯孝、湯浅伸子の両氏が「消費者の胃袋を掴む、安全で安心な美味しい豚肉を作るために」「つなぎ評価をはじめましょう」の演題でそれぞれ講演。また、京都府農林水産技術センター畜産センターの佐々木敬之技術指導員が「飼料及び豚肉成分分析結果について」、独立行政法人家



畜改良センターの入江正和理事長が「豚肉の脂肪交雑とアミノ酸比率法の基礎、脂肪質の向上」について、各分野の専門家としての立場から講演を行った。研究会の後は意見交換会が行われ、質疑応答の後、会場を移して懇親を深めた。

## 横浜市場が「関東東海フェア」 最優秀賞交雑種は中村畜産、和牛はマルトミが購買

横浜食肉市場は2月28日、「第7回関東・東海フェア」を開催した。これまで関東フェアとして開催していたが、今回、愛知県からの出品が加わったことにより、関東・東海と名称を変更して行われた。第1部(交雑種)には42頭(雌38頭、去勢4頭)、第2部(黒毛和牛)には49頭(雌22頭、去勢27頭)の合計91頭が出場。審査の結果、交雑種のも最優秀賞には群馬県の(株)岩田が出品した雌牛(父「北美津久」、格付A5、BMSNo.8、枝肉重量594kg、ロース芯面積76cm<sup>2</sup>、歩留まり基準値73.1%)が選ばれ、(株)中村畜産がキロ当たり2460円で購買。黒毛和牛の最優秀賞(写真)には、群馬県の佐波伊勢崎農業協同組合・小泉憲一さんが出品した去勢牛(父「福之姫」、母の父「安福久」、A5、No.12、516kg、95cm<sup>2</sup>、

79.8%)  
が選ばれ、  
(株)マルトミ  
が3364円  
で購買し  
た。そのほ  
か、優秀賞



入賞牛の出品者(牛成績、購買者)は次のとおり。

[第1部(交雑種)] 茨城県・(有)宮島牧場(雌、格付A5、BMSNo.9、枝肉重量487kg、単価2057円、購買者=(株)SCミート)

[第2部(黒毛和牛)] 神奈川県・(株)湘南ファーム(去勢、A5、No.12、521kg、3075円、マルトミ)

## [ソーセージ輸入1月] 計1990 tで28・3%増

1月のソーセージ輸入通関実績は計1990 t (前年同月比28・3%増) で増加となり、前月比では353 t減となった。国別では中国が576 t (69・9%増)、

7%増)、デンマークが112 t (433・3%増) と前年を上回ったが、タイは357 t (20・3%減) で減少となった。

### ソーセージ輸入量の推移

単位：トン、カッコ内前年比%

	中国	タイ	米国	ブラジル	デンマーク	合計
2022年計	5,610 (91.7)	7,066 (106.9)	6,321 (88.3)	6,422 (174.6)	1,347 (114.3)	28,444 (106.2)
2023年計	5,104 (91.0)	6,721 (95.1)	6,470 (102.4)	4,544 (70.8)	1,230 (91.3)	25,580 (89.9)
2024年計	5,162 (101.1)	5,975 (88.9)	6,637 (102.6)	5,730 (126.1)	1,197 (97.3)	26,196 (102.4)
2024年1月	339 (93.4)	448 (89.1)	342 (65.1)	301 (81.4)	21 (16.8)	1,551 (77.4)
2月	356 (106.3)	555 (95.5)	423 (105.5)	325 (96.2)	59 (-)	1,786 (100.3)
3月	349 (100.3)	506 (79.9)	517 (142.8)	407 (132.1)	76 (140.7)	1,986 (109.7)
4月	414 (80.4)	516 (102.6)	776 (150.4)	517 (129.3)	155 (72.1)	2,539 (110.5)
5月	464 (132.2)	502 (132.8)	647 (143.8)	349 (94.3)	134 (108.1)	2,192 (125.2)
6月	401 (96.9)	490 (76.8)	632 (102.9)	516 (113.9)	72 (64.9)	2,232 (93.0)
7月	439 (108.7)	577 (91.0)	619 (106.4)	432 (84.9)	160 (118.5)	2,404 (101.2)
8月	474 (92.8)	451 (89.5)	493 (60.8)	629 (147.7)	133 (102.3)	2,351 (92.4)
9月	468 (100.9)	499 (88.0)	450 (88.8)	516 (145.4)	83 (180.4)	2,104 (101.7)
10月	400 (75.2)	634 (110.5)	490 (88.9)	692 (163.6)	37 (63.8)	2,384 (106.8)
11月	491 (130.2)	400 (71.7)	570 (113.1)	663 (235.9)	101 (69.7)	2,325 (114.8)
12月	567 (115.7)	396 (61.1)	677 (104.6)	383 (123.2)	166 (190.8)	2,343 (102.3)
2025年1月	576 (169.9)	357 (79.7)	389 (113.7)	422 (140.2)	112 (533.3)	1,990 (128.3)

## [鶏肉調製品輸入1月] 計3万8628 tで8・2%増

1月の鶏肉調製品の輸入通関実績は、計3万8628 t (前年同月比8・2%増) と前年を上回った。前月からは6952 t減少した。国別ではタイが2万

3775 t (9・5%増) と増加。中国も1万3978 t (5・6%増) と増加した。そのほか韓国が109 t (15・6%増)、ブラジルが38 t (50・0%減) となった。

### 鶏肉調製品輸入の推移

単位：トン、( )内は前年比%

	中国	タイ	ブラジル	韓国	米国	フィリピン	合計
2022年計	192,373 (109.3)	326,751 (109.3)	1,925 (110.6)	1,028 (93.3)	117 (55.8)	33 (71.4)	525,762 (109.4)
2023年計	173,673 (90.3)	297,810 (91.1)	558 (29.0)	1,201 (116.8)	100 (85.5)	0 (-)	477,983 (90.9)
2024年1月	13,238 (110.4)	21,717 (99.7)	76 (66.7)	94 (131.7)	- (-)	- (-)	35,688 (104.1)
2月	11,064 (120.0)	22,790 (101.6)	19 (26.0)	72 (63.0)	- (-)	- (-)	34,339 (107.0)
3月	13,221 (88.9)	24,460 (96.5)	19 (100.0)	57 (118.7)	14 (-)	- (-)	38,329 (94.5)
4月	16,788 (114.1)	27,086 (109.6)	38 (100.0)	150 (385.2)	0 (-)	- (-)	44,648 (111.9)
5月	14,034 (113.5)	26,117 (115.2)	38 (99.6)	65 (206.2)	- (-)	- (-)	40,776 (115.0)
6月	15,546 (100.1)	26,467 (111.2)	19 (100.0)	23 (52.2)	14 (-)	- (-)	42,605 (107.2)
7月	19,023 (127.4)	27,823 (116.0)	94 (123.7)	33 (116.4)	- (-)	- (-)	47,452 (120.2)
8月	14,464 (99.9)	24,641 (96.7)	38 (100.0)	60 (165.2)	- (-)	- (-)	39,797 (98.6)
9月	16,795 (112.3)	22,519 (88.9)	56 (892.6)	65 (82.7)	14 (-)	- (-)	39,880 (97.7)
10月	17,078 (114.2)	29,949 (118.2)	76 (-)	135 (170.6)	- (-)	- (-)	47,902 (117.4)
11月	18,464 (117.7)	27,000 (96.5)	- (-)	119 (57.3)	14 (-)	- (-)	46,192 (104.1)
12月	17,440 (105.6)	27,278 (101.2)	19 (13.6)	209 (205.5)	- (-)	- (-)	45,580 (102.9)
2024年計	187,156 (107.8)	307,850 (103.4)	490 (87.8)	1,081 (90.0)	57 (57.2)	- (-)	503,188 (105.3)
2025年1月	13,978 (105.6)	23,775 (109.5)	38 (50.0)	109 (115.6)	- (-)	- (-)	38,628 (108.2)

## 農林水産物および輸出の促進に関する法律に基づく実行計画変更 ウクライナ向けの牛肉輸出解禁に向け、協議進める

農水省はこのほど、農林水産物および輸出の促進に関する法律に基づく実行計画の変更について公表。新たに、輸出先国・地域との協議への対応において、ウクライナ向けの牛肉輸出解禁に向けた実行計画などが盛り込まれた。

ウクライナ向けの牛肉輸出については、2021年12月に2国間協議を開始。その後ロシアによるウクライナ侵略が開始され、作業を停止していたが、24年、在ウクライナ大使館や事業者から引き続き輸出希望があることを確認したため、農水省および厚労省は、ウクライナ向けの輸出解禁に向けて協議を実施していくこととしている。なお、輸出可能性として、輸出額3千万円を掲げる。

このほか、事業者・産地への支援に関する対応では、東南アジア、中東などを対象に、ハラール認証に

関する情報集約などによる利便性の向上を図る。イスラム諸国への輸出に必要なハラール認証は、各国ごとに規制が異なり、手続きが複雑かつ不透明であるほか、これらの情報が一元的に分かりやすく集約されていないため、輸出事業者などが当該地域への輸出に取り組みにくくなっている。これらを踏まえ、情報の集約を行い発信すべく、25年1月、農水省内にハラール案件に対応するハラールチームを設置。今後、ハラールチームを中心に、ジェットロとも連携しつつ、輸出事業者からの情報収集や各ハラール関係団体との意見交換、必要に応じて対象国政府との意見交換などを行う。その上で、農水省ウェブサイトなどを通じた情報の集約と分かりやすい発信を行うことにより、輸出事業者の利便性を向上させる。

## バーガーキング、お得なクーポン進呈「バーガーキング潜入大作戦」開始

(株)ビーケージャパンホールディングス(東京都千代田区、野村一裕社長)は、2月27日～3月26日の期間、日本全国のお客から、同店内に潜入して、接客、サービス、清潔さ、メニュー、価格設定など店舗の弱点を隅々まで調査し、報告する750人のスパイを募集する「バーガーキング潜入大作戦」を実施する。

同キャンペーン特設ウェブサイトから応募でき、採用された人の潜入3回分の飲食代は同店が全額負担

するとしている。さらに、同店の公式スパイの証しである「オリジナルTシャツ」と「オリジナルステッカー」もプレゼント。また、応募した人に、漏れなく同店自慢の直火焼きの100%ビーフパティを使用した人気ナンバー1メニュー「ワッパーチーズセット」をお得に楽しめるクーポンをプレゼントする。「バーガーキング潜入大作戦」特設ウェブサイト=https://burgerking-spycampaign.spiral-site.com

## オリジン、期間限定「牛ハラミ焼肉弁当」登場

弁当・総菜専門店「キッチンオリジン」「オリジン弁当」を展開しているイオングループのオリジン東秀(東京都調布市、後藤雅之社長)は2日、「牛ハラミ焼肉弁当」(税込み862円)を発売した。

同商品の牛ハラミは、軟らかいがしっかりとした食感があり食べ応え抜群で、肉のうまみを引き立てる「にんにく醤油だれ」と、「瀬戸内レモン使用ネギ塩だれ」の2種類のタレを用意。にんにく醤油だれは、

にんにくの風味と黒こしょうを効かせた甘さとコクのある仕立てで、ご飯がよく進む仕上がり。ネギ塩だれは、瀬戸内レモン果汁のさっぱりとした味わいに、黒こしょうのピリツとした辛さが効いた塩だれ。仕上げに加えるねぎの風味がアクセントで、さっぱりと食べられるよう仕立てた。また、さらに満足感を感じたい人向けにフライを付けてボリュームアップさせた「DX牛ハラミ焼肉弁当」(1134円)もラインアップしている。

## ドイツでの口蹄疫発生から 1 カ月が経過、豚肉価格が軟化

ドイツでは1月10日、北東部のブランデンブルク州で飼養されていた水牛から、同国では1988年以來となる口蹄疫の感染が確認された。口蹄疫の発生から約1カ月が経過した2月17日時点で、2例目の感染は確認されておらず、ドイツ養豚生産者協会 (ISN) は、EU理事会から同国の対応は迅速であったとの評価を受けたとしている。

口蹄疫の感染が確認された農場の周囲には制限区域が設けられ、発生農場から半径3kmの保護区域 (Protection Zone) と同10kmの監視区域 (Surveillance Zone) が設定された (上図)。区域内では反すう動物や豚など口蹄疫に感受性のある家畜およびその由来製品の移動が禁止され、周辺では200頭以上の動物が殺処分されたほか、監視区域内の酪農家 (1戸) は、2月9日までの30日間、生乳を廃棄処分することとなった。

その後、2例目の感染が確認されていないことから、2月11日に保護区域が解除され、監視区域に統合された。監視区域は早ければ2月25日に解除される可能性もあるが、口蹄疫清浄地域としての認定を受けるための国際ガイドラインに準拠するため、発生農場周辺の特定の措置と調査は4月11日まで継続される見込みである。なお、感染源や感染経路については依然として確認中である。

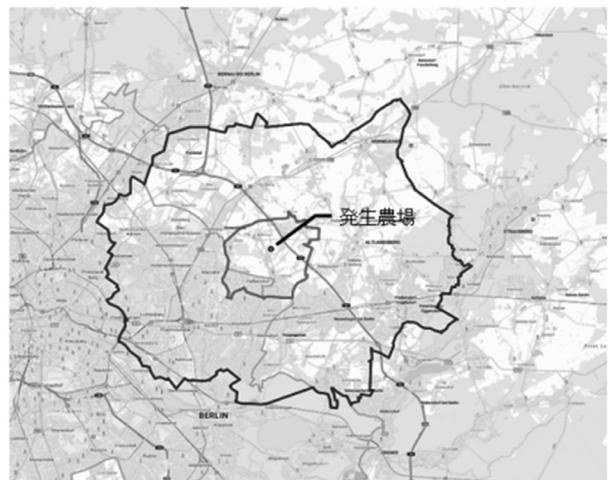
2024年のドイツの豚肉生産量は、前年比1・9%増の430万tとなった。16年以降、同国の豚肉生産量は減産傾向で推移していたが、これにより8年ぶりの増産となった。一方、足元では口蹄疫の発生を受け、英国など主要輸出先からの輸入禁止により国内の豚肉価格は軟化している。同国の豚枝肉卸売価格をみると、口蹄疫発生前の25年第1週 (24年12月30日の週) の100kg当たり201・71ユーロ (3万2649円:1ユーロ=161・86円) から、第6週 (25年2月3日の週) には10・6%安の180・42ユーロ (2万9203円) へと下落している (下表)

ISNは、口蹄疫による価格下落による損失額は、年始からの3カ月で約1億ユーロ(約162億円)になると見込んでいる。

関係者によれば、発生農場の所在する地域は、主要生乳生産地域ではないことから、生乳生産への影響は限定的とみられる。同国の25年1月の生乳価格は、前月並みの100kg当たり55・59ユーロ (8998円) で推移した。

また、乳製品部門の影響評価は現時点では困難であるが、25年1月末時点でドイツからの牛乳および乳製品の輸入を全面的に禁止している国はチリ、ペルーなど少数に限られ、日本を含む多くの国がウイルスを不活性化処理 (加熱処理など) が施された製品であれば輸入を許可している。(農畜産業振興機構)

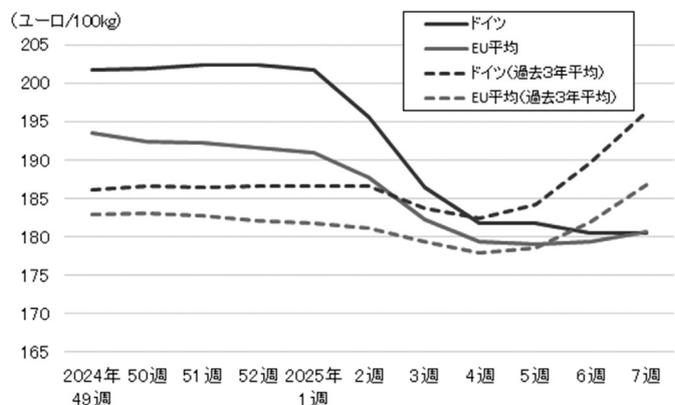
口蹄疫発生による制限区域



資料:ドイツ連邦食料・農業省

注:赤枠:保護区域(Protection Zone)、青枠:監視区域(Surveillance Zone)

豚枝肉卸売価格の推移



資料:欧州委員会「Meat Market Observatory - Pigmeat」

注:CLASS Eの平均価格

第49回  
**2025食肉産業展**  
2025 Japan Meat Industry Fair 49th.



**食肉情報セミナー**

**受講申込受付中!**

会期◎2025年  
3月11日(火)→14日(金)

会場◎東京ビッグサイト  
(東京都江東区有明3-11-1)  
アクセス:ゆりかもめ・東京ビッグサイト駅(徒歩約3分)りんかい線・国際展示場駅(約7分)

食肉業界唯一・最大のイベント「第49回食肉産業展2025」が3月11日から14日までの4日間、東京ビッグサイトで開催されます。49回目となる本展示会の主催者企画では、食肉に関する様々なテーマで食肉情報セミナーを開催します。ぜひ受講をお申し込みください。

■ **食肉情報セミナー** (受講料無料・各先着 30名) ※定員になり次第募集は終了

日時	会場	プログラム	
3月11日 11:00 ~ 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>牛肉、豚肉輸出の現状と各市場の動向について</b> 講師：農林水産省畜産局食肉鶏卵課食肉需給対策室 課長補佐(食肉貿易班担当) 藤谷洋平	和牛をはじめとした国産食肉の輸出については、官民一体となったさまざまな取り組みもあり、着実に伸長しています。国産牛肉、豚肉の輸出の現状と世界各市場の動向について紹介します。
3月11日 15:00 ~ 15:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>畜産物の輸出促進について(牛肉を中心に)</b> 講師：一般社団法人日本畜産物輸出促進協会 専務理事 川島俊郎	日本産畜産物のオールジャパンでのプロモーションや輸出に関する情報収集・提供を行う同協会の活動方針や取り組み、現在の輸出状況や今後の方向性などについて紹介します。
3月12日 11:00 ~ 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>物価上昇下の食肉販売の現状と物流2024問題への業界の取組を追う</b> 講師：公益財団法人日本食肉流通センター 情報部 部長 安藤松太郎	食肉業界の販売動向や「物流の2024年問題」の対応状況について、食肉事業者に加えて、運送業者、大手食肉加工メーカーの物流担当者及び冷蔵倉庫業者へのきき取りを基に紹介します。
3月12日 15:00 ~ 15:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>ミートジャーナル特別企画 混迷する時代の明日のミートマーケットを読む</b> 講師：有限会社ブリッジインターナショナル 代表 高橋 寛	月刊「ミートジャーナル」執筆中の著者による特別企画。穀物高、燃料高、為替、戦争、異常気象、疫病など、さまざまな問題を抱える食肉業界の近未来のマーケット動向を探ります。
3月13日 11:00 ~ 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>食肉産業の即戦力を育成する</b> 講師：公益社団法人全国食肉学校 学校長 小原和仁	自社が求める即戦力は、外部の経験者を求めてもその獲得は困難です。たとえ遠回りのように見えても、自社の社員を育成するのが結果的に早道になります。全国食肉学校は食肉産業が求める人材を育成します。
3月14日 11:00 ~ 11:40	国内出展者 セミナー会場 東1ホール	<b>細胞性食品の現状と今後の可能性について</b> 講師：細胞農業研究機構 代表理事 吉富愛望アビガイル	細胞農業領域のルール形成に特化した国内唯一の団体の代表理事が細胞性食品の現状や日本市場における今後の可能性などを探ります。

講師の都合により、講師変更および講演中止の可能性もございます。

注※セミナーの受講は、事前に来場登録が必要です。

登録後にFOODEXホームページの出展者セミナー申し込みフォーム  
([https://www.jma.or.jp/foodex/seminar/exhibitor\\_01.html](https://www.jma.or.jp/foodex/seminar/exhibitor_01.html))  
からお申し込み下さい。



お問い合わせ

**食肉産業展実行委員会事務局 TEL 03-6206-0929**

[資料] 2025年1月分の食肉輸入通関実績⑨

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

レスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。)並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。)のみから成るもの(課税価格が1kgにつき、豚肉加工品に係る分岐点価格を超えるもの)

CHINA	105 KG	18480	20209	18480	20209
THAILND	111 KG	6985	10198	6985	10198
SPAIN	218 KG	152	228	152	228
AUSTRAL	601 KG	3803	5876	3803	5876
TOTAL	990 KG	29420	36511	29420	36511
(E. U)	991 KG	152	228	152	228

1602.42-090 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚の肩肉及びこれを分割したものの(その他のもの))

R KOREA	103 KG	14851	7862	14851	7862
CHINA	105 KG	29417	19833	29417	19833
THAILND	111 KG	8639	21067	8639	21067
IRELAND	206 KG	696000	429313	696000	429313
SPAIN	218 KG	61820	36230	61820	36230
CANADA	302 KG	585860	328896	585860	328896
USA	304 KG	4288098	2516245	4288098	2516245
MEXICO	305 KG	1056340	600610	1056340	600610
CHILE	409 KG	1344000	715573	1344000	715573
TOTAL	990 KG	8085025	4675629	8085025	4675629
(E. U)	991 KG	757820	465543	757820	465543

1602.49-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚のもの)(肩肉、もも肉を除く。)(混合物を含む。)(腸、ぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(単に水煮したもの))

MEXICO	305 KG	30510	7693	30510	7693
BRAZIL	410 KG	6984	3572	6984	3572
TOTAL	990 KG	37494	11265	37494	11265

1602.49-220 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚のもの)(肩肉及びもも肉を除く。)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。)、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。)並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。)のみから成るもの(課税価格が1kgにつき豚肉加工品に係る分岐点価格を超えるもの))

CHINA	105 KG	24817	42318	24817	42318
TAIWAN	106 KG	11018	17947	11018	17947
THAILND	111 KG	14900	22602	14900	22602
FRANCE	210 KG	3459	7106	3459	7106
PORTUGL	217 KG	32	346	32	346
SPAIN	218 KG	288	375	288	375
ITALY	220 KG	2777	3621	2777	3621
AUSTRIA	225 KG	2844	6082	2844	6082
CANADA	302 KG	4704	5017	4704	5017
USA	304 KG	25090	65338	25090	65338
TOTAL	990 KG	89929	170752	89929	170752
(E. U)	991 KG	9400	17530	9400	17530

1602.49-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚のもの)(肩肉、もも肉を除く。)(その他のもの)

R KOREA	103 KG	8486	3779	8486	3779
CHINA	105 KG	836417	495722	836417	495722
TAIWAN	106 KG	9492	7373	9492	7373
THAILND	111 KG	100499	151928	100499	151928
SNGAPOR	112 KG	12067	11469	12067	11469
PHILPIN	117 KG	720	717	720	717

DENMARK	204 KG	617210	407514	617210	407514
GERMANY	213 KG	1518	1795	1518	1795
CANADA	302 KG	921	1421	921	1421
USA	304 KG	2416677	1691572	2416677	1691572
MEXICO	305 KG	153860	94346	153860	94346
TOTAL	990 KG	4157867	2867636	4157867	2867636
(E. U)	991 KG	618728	409309	618728	409309

1602.50-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(牛のもの)(腸、ぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(単に水煮したもの))

SPAIN	218 KG	13223	8308	13223	8308
USA	304 KG	313762	144324	313762	144324
AUSTRAL	601 KG	24253	7600	24253	7600
TOTAL	990 KG	351238	160232	351238	160232
(E. U)	991 KG	13223	8308	13223	8308

1602.50-339 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量の合計が全重量の30%未満のもの)(米を含むもの)(気密容器入りのものを除く。)(野菜を含むものを除く。)

AUSTRAL	601 KG	8280	7530	8280	7530
TOTAL	990 KG	8280	7530	8280	7530

1602.50-390 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量の合計が全重量の30%未満のもの)(その他のもの)

CHINA	105 KG	1507	1237	1507	1237
TOTAL	990 KG	1507	1237	1507	1237

1602.50-510 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(牛のもの)(調味した後に乾燥したもの)(気密容器入りのもの)(冷蔵及び冷凍のいずれもしていないもの)

NEWZELD	606 KG	13338	70819	13338	70819
TOTAL	990 KG	13338	70819	13338	70819

1602.50-590 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(牛のもの)(調味した後に乾燥したもの)(気密容器入りのものを除く。)

AUSTRAL	601 KG	2754	12868	2754	12868
TOTAL	990 KG	2754	12868	2754	12868

1602.50-600 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(牛のもの)(コーンビーフ)

PHILPIN	117 KG	6048	8224	6048	8224
NEWZELD	606 KG	10387	21004	10387	21004
TOTAL	990 KG	16435	29228	16435	29228

1602.50-700 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量の合計が全重量の30%以上のもの)(気密容器入りのもの(野菜を含むもの))

CHINA	105 KG	9266	7369	9266	7369
AUSTRAL	601 KG	613706	581955	613706	581955
TOTAL	990 KG	622972	589324	622972	589324

1602.50-890 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量の合計が全重量の30%以上のもの)(気密容器入りのもの(冷蔵及び冷凍のいずれもしていないものに限るものとし、野菜を含むものを除く。))(その他のもの)

THAILND	111 KG	10506	15894	10506	15894
GERMANY	213 KG	1398	1453	1398	1453
TOTAL	990 KG	11904	17347	11904	17347
(E. U)	991 KG	1398	1453	1398	1453

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 3月3日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 174頭	高値	4,629	3,052	-	-	-
		安値	2,337	2,252	-	-	-
		平均	3,075	2,481	2,107	-	-
	雌 B 2頭	高値	-	2,808	-	-	-
		安値	-	2,074	-	-	-
		平均	-	2,463	-	-	-
	去 A 87頭	高値	3,030	2,431	-	-	-
		安値	2,189	2,305	-	-	-
		平均	2,575	2,340	2,109	-	-
	去 B -頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 27頭	平均	1,574	1,624	1,521	1,348	-
		頭数	1	4	13	9	-
	雌 C 4頭	平均	-	-	-	1,323	-
		頭数	-	-	-	4	-
	去 B 16頭	平均	-	1,650	1,535	1,400	-
		頭数	-	5	7	4	-
去 C -頭	平均	-	-	-	-	-	
頭数	-	-	-	-	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	404 404	1,052 918	- 118.0	(競り)	(相対)	
				-	10	69

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,171	2,019	1,809	1,425	-
	B	-	1,496	1,409	1,155	-
和 去	A	2,467	2,435	2,181	2,003	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	915	-
	C	-	-	-	907	873
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,533	1,508	1,138	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	1,726	1,679	1,530	-	-
	C	-	-	1,491	1,361	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	648	907	886	918	907
	安値	605	562	549	443	294
	平均	624	600	585	534	464
	頭数	( 4)	( 298)	( 374)	( 159)	( 83)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)	
搬入 相対	高値	-	-	623	602	548
	安値	-	-	622	591	538
	平均	-	648	622	598	541
	頭数	( -)	( 1)	( 3)	( 3)	( 3)

[大阪食肉卸売市場] 3月3日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ]は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,598	2,461	-	-	-
(頭数)	( 7)	( 4)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
和 去 A	2,645	2,140	-	-	-
(頭数)	( 12)	( 2)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,665	1,567	-	-
C	-	-	1,442	-	-
交雑去 B	-	1,673	1,616	-	-
C	-	1,664	1,524	1,392	-
豚	-	613	562	495	487

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	3月3日	2月28日	(3月累計)
豚	65,900	68,400	65,900
成牛計	4,700	4,120	4,700
和牛雌	980	1,030	980
和牛去勢	1,470	860	1,470
乳牛雌	420	760	420
乳牛去勢	680	260	680
交雑雌	380	730	380
交雑去	760	480	760

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 3月3日

	1,476円	(前日 1,480円)
東京		
大阪	1,426円	(前日 1,405円)

[豚・全農建値] 3月3日

上	中	取引頭数	市況
605円	586円	1,215頭	弱もちあい

と畜 売買	牛 76頭 牛 60頭	豚 114頭 豚 162頭	牛概況 豚概況	まちまち 反発
----------	----------------	------------------	------------	------------

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 3月3日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	5,846	-	もちあい
仙台 [中]	565 (559)	525 (498)	371	72	続伸
宇都宮 [地]	645 (621)	592 (566)	1,717	70	上伸
茨城 [地]	614 (611)	592 (589)	1,342	389	強もちあい
群馬 [地]	601 (588)	520 (519)	1,918	367	続伸
さいたま [中]	600 (596)	587 (583)	241	238	反発
東京 [中]	600 (608)	585 (583)	1,052	918	小反落
横浜 [中]	- (615)	- (587)	-	-	休市
山梨 [地]	- (-)	- (-)	116	53	休市
浜松 [地]	606 (586)	550 (556)	298	32	上伸
名古屋 [中]	616 (621)	560 (561)	864	274	弱もちあい
京都 [中]	624 (634)	621 (614)	78	74	もちあい
大阪 [中]	613 (547)	562 (540)	76	147	反発
神戸 [中]	- (610)	- (588)	151	-	上場なし
岡山 [地]	645 (626)	610 (617)	242	385	強気配
広島 [中]	580 (599)	551 (561)	192	102	下押し
福岡 [中]	595 (579)	564 (541)	553	151	反発

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。京都の前日は1日。

[日本食肉流通センター] 2月24日～3月2日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,693,112 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,069	1,187	1,285	1,182	79,677
うで	734	800	820	791	135,932
ロース	1,059	1,145	1,210	1,130	148,277
ばら	1,166	1,205	1,315	1,225	159,787
もも	751	772	815	775	230,226
ヒレ	1,166	1,186	1,188	1,182	14,966
セット	955	1,037	1,085	1,031	924,247

◇近畿圏 総重量 725,795 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,180	1,286	1,350	1,287	58,338
うで	713	745	761	742	123,973
ロース	1,105	1,184	1,242	1,178	95,617
ばら	1,188	1,259	1,296	1,243	127,273
もも	725	756	799	755	158,094
ヒレ	1,086	1,188	1,318	1,190	10,862
セット	922	963	1,051	980	151,638

[食鳥正肉日経相場] 2月28日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	693	744	824	171
ムネ	354	393	498	145

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	695	751	1,030	9
ムネ	357	405	590	7

[農水省統計情報部食鳥市況] 2月28日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	972	614	550	600	650
安値	722	370	290	360	350
平均	761	409	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### ◆業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### ◆畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### ◆食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### ◆イベント

#### ◆国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### ◆教材&レポート等

#### ◆あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著  
鏡 晃 監

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

#### ◆知識を豊かにする 食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

#### ◆~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

### 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

### ◆ステーションナリー

## 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

◆大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

◆東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

◆九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。